

12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数 (単位:本)

	平成1年度	平成11	21	28	29	30	令和1	2	3
計	4.30	2.92	1.40	0.84	0.82	0.74	0.70	0.68	0.63
喪失歯数	0.04	0.04	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
むし歯(う歯)	計	4.26	2.88	1.37	0.83	0.81	0.73	0.69	0.62
	処置歯数	3.05	2.09	0.87	0.51	0.52	0.47	0.45	0.39
	未処置歯数	1.21	0.79	0.49	0.31	0.30	0.27	0.24	0.23

12歳児のむし歯等数

平均0.63本に

むし歯(う歯)の被患率 (単位:%)

幼稚園	小学校							
	計	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	
5歳	26.49	39.04	33.05	40.26	46.03	45.59	39.26	30.13
計	中学校			高等学校				
	12歳	13歳	14歳	計	15歳	16歳	17歳	
30.38	28.33	29.66	33.13	39.77	34.85	39.88	44.52	

12歳児1人当たりの永久歯の平均むし歯等数は、平成元年の4.30本から11年2.92本、21年1.40本と減少し、27年に0.90本と1本を切った。令和3年度の0.63本の内訳は、処置歯0.39本、未処置歯0.23本、喪失歯0.01本。

むし歯の罹患率は、高等学校が39.77%で最多、小学校が39.77%で最多、幼稚園15.42%となっている。

12歳児のむし歯等数は、平成元年の4.30本から11年2.92本、21年1.40本と減少し、27年に0.90本と1本を切った。令和3年度の0.63本の内訳は、処置歯0.39本、未処置歯0.23本、喪失歯0.01本。

むし歯の罹患率は、高等学校が39.77%で最多、小学校が39.77%で最多、幼稚園15.42%となっている。

学校39.04%、中学校30.38%、幼稚園26.49%の順。ただ年齢別に見ると小学生の8歳が46.03%と最も高く、9歳45.59%、17歳44.52%、7歳40.26%が4割を超えている。

未処置のある者の割合では、小学生18.42%が最多で、次いで高等学校15.65%、幼稚園15.42%、中学生12.33%となっている。

令和3年度学校保健統計 速報値